

ダイキン自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯機

グリーン購入法
調達基準適合商品

ランニングコスト
約**40%**
低減^{※1}

都市ガスとの比較試算値
(当社試算)



メインリモコン



業務用エコキュート

日量給湯能力

0.6~4.8トン/日

給湯加熱効率

4.0

環境に配慮した
自然冷媒CO₂を採用

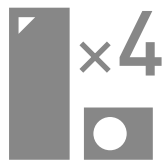
高圧給湯でパワフルに供給。
小~中規模の店舗、
施設におすすめです。

SUPERMARKET

RESTAURANT

ELDERLY
HEALTH
CENTER

NURSERY
SCHOOL

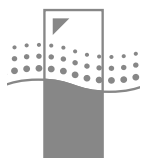


連結設置で 幅広い給湯ニーズに対応

●最大4台までの複数台連結(別売キット必要)



湯量やデータが 見やすいリモコン



たっぷりのお湯を パワフルに供給

- 給湯圧力320kPa(減圧弁設定圧力)
- 常時追加沸き増し可能で湯切れリスク軽減
- 外気温-25℃※2の寒冷地に対応



安全性・ 周辺環境への配慮

- 「耐震クラスA」をクリア
- 低騒音設計で近隣に配慮

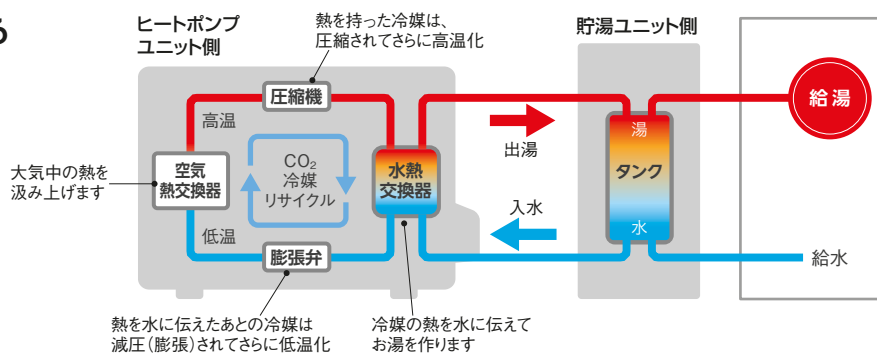
ラインアップ(タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合)

1日あたりの 供給湯量 (給湯60℃)	1,200L/日 (寒冷地 1,050L/日)	2,400L/日 (寒冷地 2,100L/日)	3,600L/日 (寒冷地 3,150L/日)	4,800L/日 (寒冷地 4,200L/日)
ピーク 給湯能力 (3時間)	500L/3時間	1,000L/3時間	1,500L/3時間	2,000L/3時間
ユニット 連結台数	1台	2台 ※3	3台 ※3	4台 ※3
設備 イメージ	 リモコン EQG461UHV	 EQG461UHV × 2セット	 EQG461UHV × 3セット	 EQG461UHV × 4セット

業務用エコキュート

エネルギーを有効活用する ヒートポンプ給湯。

ヒートポンプは電気エネルギーの3倍以上の熱エネルギーが取出せ、CO₂排出量も抑える、“高効率&クリーン”な給湯方式です。



電気 **1**
電気エネルギーで圧縮
 +
 空気熱 **2**以上
空気から熱エネルギーを吸収
 =
 熱エネルギー **3**以上
得られる給湯エネルギー

「ヒートポンプ技術」で得られる熱エネルギーは使う電気の**3倍以上**

※1.【試算条件】外気温度条件:JRA4060:2018の一般地条件
給湯負荷:60℃・3000L/日
電力契約:東京電力 業務用季節別時間帯別電力(契約電力500kW未満)
●基本料金1,716円/kWh・ピーク時20.52/kWh、昼間時間(夏)19.81円/kWh、昼間時間(夏以外)18.38円/kWh、夜間時間12.77円/kWh
都市ガス:東京ガス 時間帯別A契約・定額基本料金1,320円/月、流量基本料金967.49円/m³・月・従量料金88.56円/m³

※2.貯湯ユニットは-20℃。

※3.ユニット連結時には別売の連結キット(BKCS995B4)と給湯流量調整弁が必要になります。

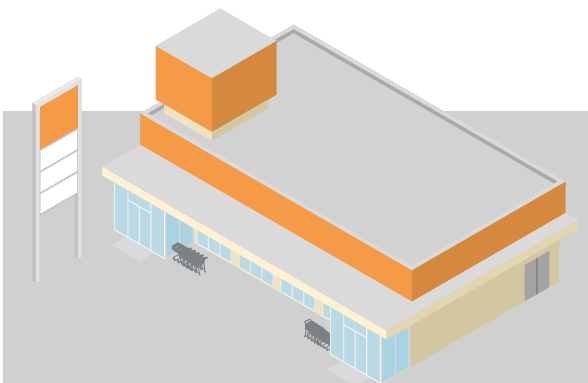
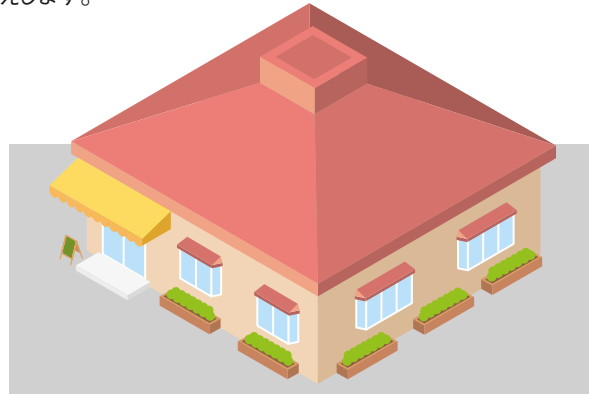


●「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒ヒートポンプ給湯機を総称する愛称です。

連結設置で幅広い給湯ニーズに対応

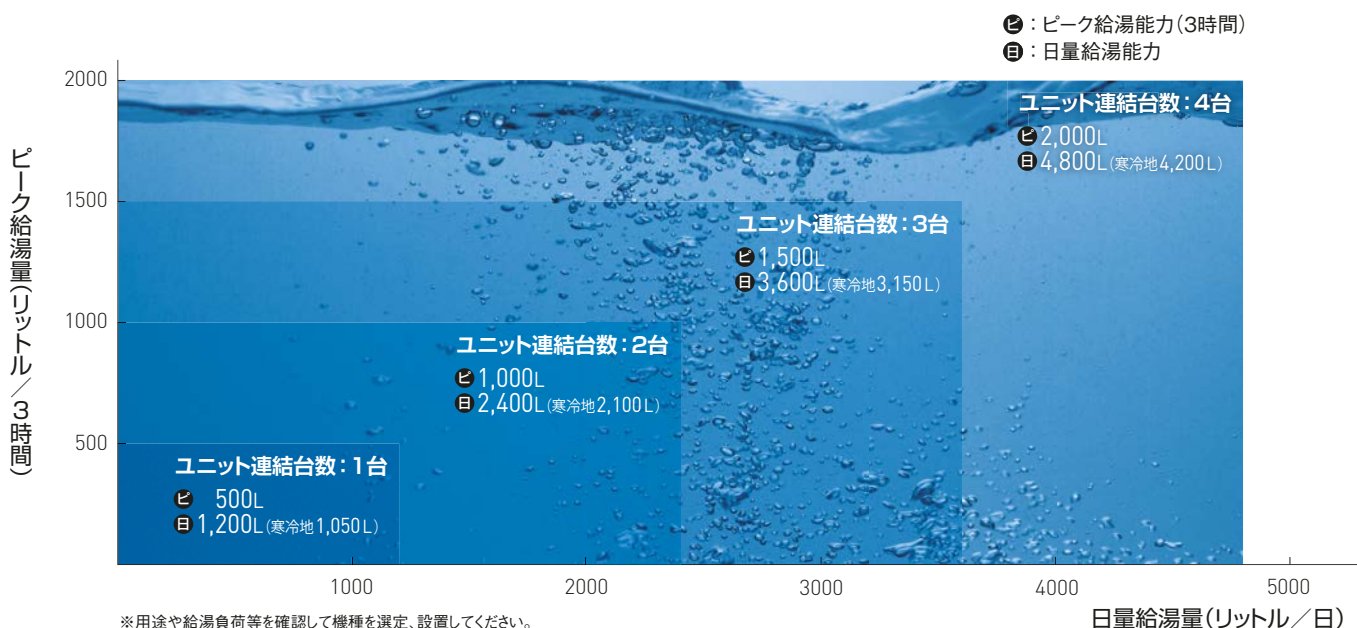


食品スーパー、レストラン、老健施設など
様々な用途にお使いいただけます。

最大4台まで接続可能な給湯システムで、幅広い業種・給湯ニーズにお応えします。

業態	 食品スーパー	 飲食店(レストラン)
規模	500坪	30席
想定日給湯量	3,000L/日(60℃)	1,600L/日(60℃)
推奨機種	 ユニット連結台数：3台	 ユニット連結台数：2台

給湯量のめやす (給湯温度60℃換算/タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合)

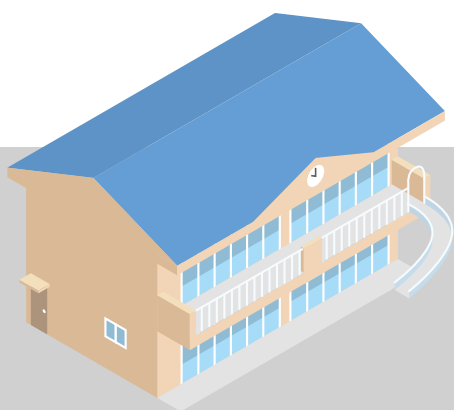


現地施工により2温度同時給湯にも対応できます

食器洗浄やゆで麺器などの高温給湯と、手洗い等の一般給湯(中温)が可能です。

HACCPなど食の安全に対する取組みがこれまで以上に強く求められています。2温度取出しをすれば、食器洗浄などの高温取出しにも有効です。

※高温給湯と一般給湯(中温)の2温度同時取出しについては、現地工事に対応ください。詳しくはP.39をご覧ください。



食堂・給食

60食(保育園)

1,000L/日(60℃)



ユニット連結台数：1台



老健施設

18人(GH)

3,500L/日(60℃)



ユニット連結台数：3台

たっぷりのお湯を
パワフルに供給

パワフル高圧
320kPa
(減圧弁設定)

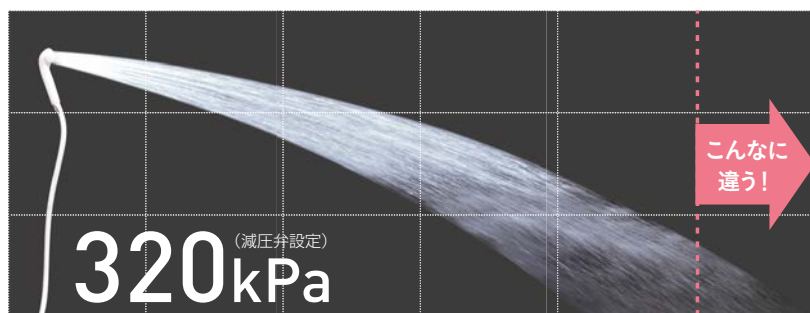


パワフル高圧給湯

**320kPaのパワフル高圧給湯だから、
離れた場所にも安定して供給できる。**

3階への供給や、2カ所同時給湯も可能なパワフルな流量です。

パワフル高圧給湯 (2018年モデル EQG461UHV)



高圧給湯 (2005年モデル EQG371FV)

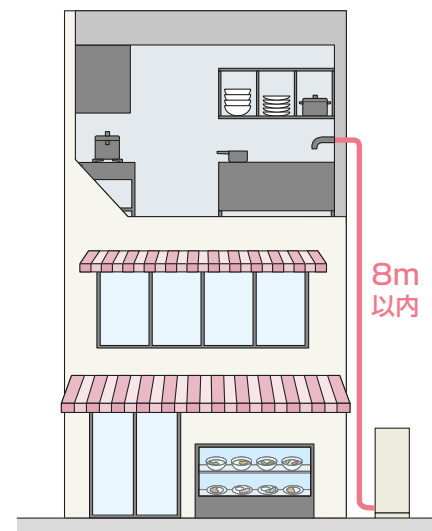


階上への給湯(3階)

1階から3階まで配管を伸ばしても、
安定してお湯を供給できます。

※階下への給湯も可能です。詳しくはお問い合わせください。

●長尺配管対応



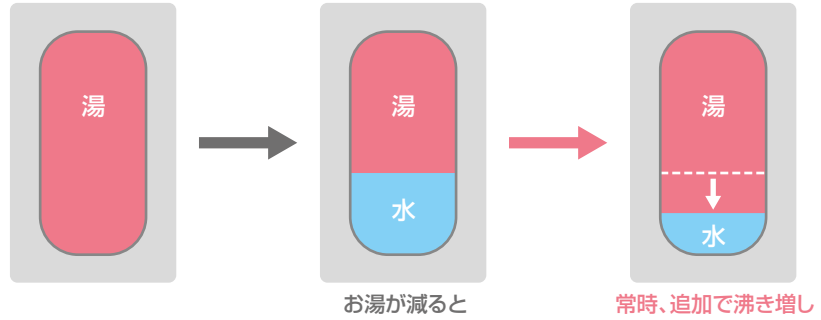
常時追加沸き増し

常時追加沸き増し可能で湯切れリスクを軽減。

昼間は常時、最高85℃の沸き上げ温度で追加沸き増しを行い、湯切れリスクを減らすことができます。(出荷時設定)

家庭用の約2倍の長寿命を実現

圧縮機の回転数制御により、家庭用ヒートポンプ給湯機に比べて約2倍の耐力を実現しました。

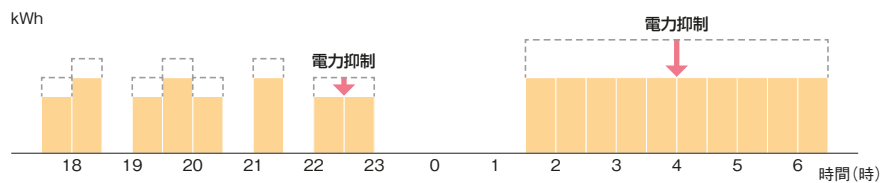


節電設定

電力抑制により沸き上げ能力を低減。

終日沸き上げ能力を低下させて、給湯にかかる電力を低減します。

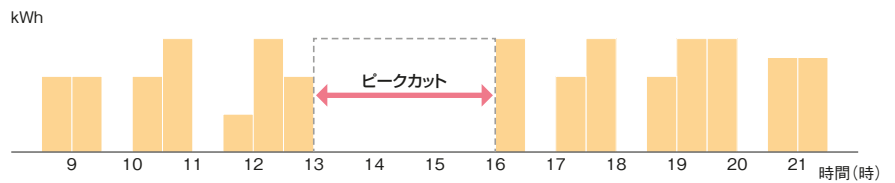
電力抑制



昼間のピークカット運転に対応。

運転を回避したい時間帯に沸き上げ運転を休止してピークカットに貢献できます。

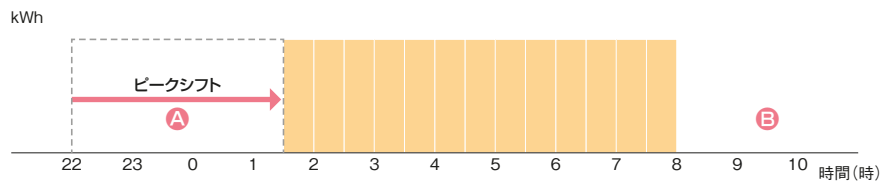
ピークカット (例 13:00-16:00設定の場合)



夜蓄運転でピークシフトに貢献。

夜間時間帯終了時刻までに沸き上げることで、夜蓄運転のピークAや朝方の電気使用量Bを抑えることができます。

ピークシフト



湯温設定

32～75℃の範囲で給湯温度が設定できます。

● 高温ニーズに対応

寒冷地設置対応

外気温-25℃の寒冷地に対応^{※1}

※1. ヒートポンプユニットの設置可能最低外気温。貯湯ユニットは-20℃以下では、屋内に設置してください。-20℃～-25℃では、タンク全量沸き上げできない場合があります。

塩害対策

海辺や潮風の吹くエリアに、耐塩害・耐重塩害兼用機をラインアップしています。

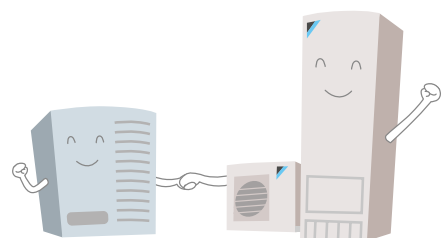
● 詳しくはP.42をご覧ください。

ハイブリッドにも対応できます

既設の燃焼式と組合せると、湯量もコストも安定します。

ベースの給湯はヒートポンプが行い、ピーク時や突然の負荷変動を燃焼式がまかなうことで、さらに低コストで、急な給湯ニーズにも対応するシステムが展開できます。

※「ハイブリッド対応」について詳しくはP.44をご覧ください。



操作しやすく、湯量が見やすいリモコン

メインリモコン BRC083B31

大きな文字で見やすく、シンプルでスタイリッシュなデザイン。
高級感のあるクリアパネルを採用しました。



タンク湯量設定

昼間常時追加沸き増し設定で、湯切れリスク軽減^{※2}

昼間^{※3}や休業日^{※4}の沸き上げ休止設定に対応

- ※2. 工場出荷時は昼間常時追加沸き増し設定(おこのみ設定でレベル10)。後から変更することも可能です。
- ※3. 当日に「昼間休止」を設定することで対応できます。
- ※4. 休業前日の閉店後に設定することで対応できます。

便利機能

じゃ口閉め忘れお知らせ^{※5}

じゃ口からお湯が少量で流れ続けていることを検知すると、表示とアラームでお知らせします。

使用湯量お知らせ

じゃ口やシャワーから使用した給湯量をリモコンに表示してお知らせします。

使用履歴(湯量実績)

過去7日間の使用湯量をグラフで表示^{※6}できるほか、1カ月ごとの1日平均使用湯量や、1日の連続給湯時間なども表示。使用湯量の傾向と対策を知ることができます。

- ※5. ユニット連結台数1台の場合のみ。
- ※6. 複数台ユニット連結時は個々のリモコン表示の合算が必要です。

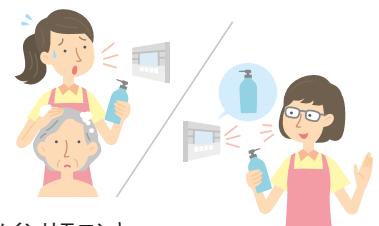
チャイルドロック
お子様のいたずら防止はもちろん、関係者以外の操作防止になります。

浴室に設置できる防水タイプもラインアップ。(ユニット連結台数1台の場合のみ)

浴室リモコン(防水タイプ) BRC083B32



浴槽清掃後にお湯をはりたいとき、すぐにお湯の調節ができて便利です。



メインリモコンと浴室リモコン(防水タイプ)で通話ができます。

安全性・周辺環境への配慮

- ① 転倒防止金具(別売品)
- ② 補強プレート(2ヶ所)
- ③ タンク支持部補強(3ヶ所)
- ④ 脚部の補強(3ヶ所)
- ⑤ 補強プレート付脚部化粧カバー(別売品)

貯湯ユニット

耐震クラスA基準をクリア※1

幅200mmのワイドな
転倒防止金具※2により取付強度アップ

タンク支持部と脚部の補強で、
本体の揺れを低減

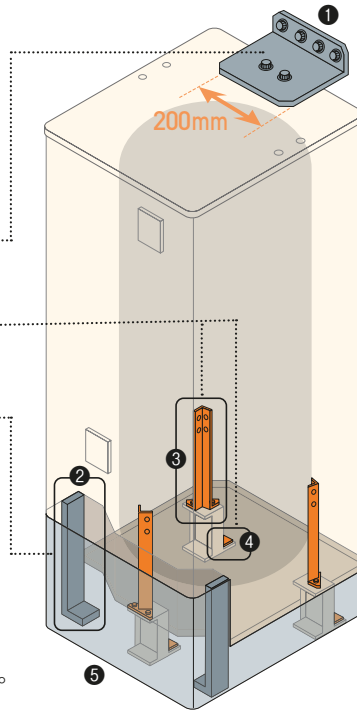
補強プレート付脚部化粧カバー※2の
設置で強度がさらにアップ

ヒートポンプユニット

40dB※3の低騒音設計で 近隣にも配慮

40dBは図書館の中にいるのと同じ位の音の大きさです。

- ※1. 一般財団法人日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における「局部振動法による設備機器の地震力」に基づいて設計。
- ※2. 「転倒防止金具」、「補強プレート付脚部化粧カバー」は別売品です。
- ※3. 中間期。



停電時・非常時にも活躍

停電時出湯対応

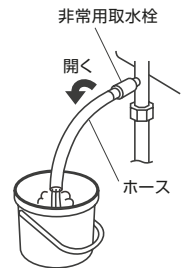
もし停電になっても、貯湯ユニットにお湯が残っていれば、シャワーやじゃ口でお湯が使用できます。

※お湯の温度は設定通りにならず、高温のお湯が出ることもあるのでやけどにご注意ください。
※給水圧力条件を満足していない場合はお湯が出ないことがあります。

非常用水取出し

災害などで断水したとき、
タンク内の水を生活用水
としてご利用いただけます。

※高温のお湯が出ることもあるのでやけどにご注意ください。



施工上のご注意

貯湯ユニットのアンカーボルト固定位置につきましてはP.38をご確認ください。
耐震性能を発揮するためには、製品の据付説明書に従い確実に施工してください。

機種一覧

	ユニット連結台数：1台	ユニット連結台数：2台	ユニット連結台数：3台	ユニット連結台数：4台
	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4	リモコン※4 ※4
標準仕様	EQG461UHV リモコンセット 希望小売価格 980,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV 450,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV 515,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31 15,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(1台) 1日あたりの供給湯量※6 1,200L (寒冷地 1,050L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 500L	EQG461UHV×2セット リモコンセット 希望小売価格 1,960,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×2台 900,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×2台 1,030,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×2台 30,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(2台)、連結キット(2台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(2個) 1日あたりの供給湯量※6 2,400L (寒冷地 2,100L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 1,000L	EQG461UHV×3セット リモコンセット 希望小売価格 2,940,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×3台 1,350,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×3台 1,545,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×3台 45,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(3台)、連結キット(3台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(3個) 1日あたりの供給湯量※6 3,600L (寒冷地 3,150L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 1,500L	EQG461UHV×4セット リモコンセット 希望小売価格 3,920,000円 貯湯ユニット：TUG461UHV×4台 1,800,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHV×4台 2,060,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×4台 60,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(4台)、連結キット(4台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(4個) 1日あたりの供給湯量※6 4,800L (寒冷地 4,200L) ピーク時(3時間)の供給可能湯量※6 2,000L
耐塩害・耐重塩害兼用機	EQG461UHVH リモコンセット 希望小売価格 1,050,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH 460,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH 575,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31 15,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(1台)	EQG461UHVH×2セット リモコンセット 希望小売価格 2,100,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×2台 920,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×2台 1,150,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×2台 30,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(2台)、連結キット(2台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(2個)	EQG461UHVH×3セット リモコンセット 希望小売価格 3,150,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×3台 1,380,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×3台 1,725,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×3台 45,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(3台)、連結キット(3台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(3個)	EQG461UHVH×4セット リモコンセット 希望小売価格 4,200,000円 貯湯ユニット：TUG461UHVH×4台 1,840,000円 ヒートポンプユニット：RQWG60UHVH×4台 2,300,000円 リモコン(必須別売品)：BRC083B31×4台 60,000円 ■別売品……脚部化粧カバー(4台)、連結キット(4台)※5 ■推奨品……給湯流量調整弁(4個)

※4. リモコン及び貯湯ユニット脚部の化粧カバーは別売品です。 ※5. 別売品の連結キットは厨房用途の場合、いずれか1つの貯湯ユニットには取り付けないでください。詳細はP.39をご覧ください。
 ※6. 給湯温度60℃換算。タンク湯量設定がお好み湯量設定「10」の場合。

業務用エコキュートは連結キット(BKCS995B4)を使用すれば、ハイブリッド給湯システムに容易に対応できます。詳細はP.44をご覧ください。

仕様表

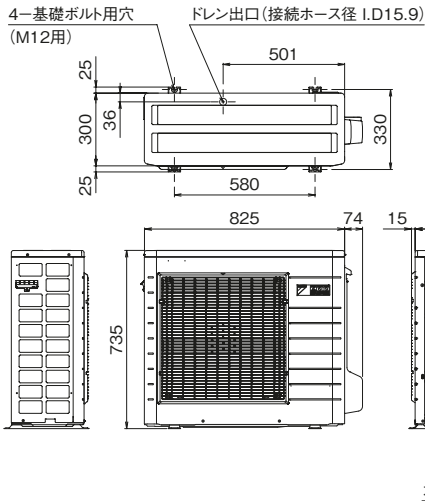
名称	CO ₂ ヒートポンプ給湯機			
標準機	総称機種名	EQG461UHV		
	貯湯ユニット	機種名	TUG461UHV	
	ヒートポンプユニット	機種名	RQWG60UHV	
耐塩害・耐重塩害兼用機	総称機種名	EQG461UHVH		
	貯湯ユニット	機種名	TUG461UHVH	
	ヒートポンプユニット	機種名	RQWG60UHVH	
相数	単相			
定格電圧	200V			
定格周波数	50Hz/60Hz			
設置場所	貯湯タンク	屋外(防雨型)/屋内兼用		
	ヒートポンプ	屋外		
給水器具認証番号	W052-20020-137			
標準貯湯加熱	中間期	能力	kW	6.00
		(注1)(注13)(注14)	消費電力	kW
	夏期	能力	kW	4.50
		(注2)(注13)(注14)	消費電力	kW
	冬期	能力	kW	6.00
		(注3)(注13)(注14)	消費電力	kW
	着霜期	能力	kW	4.70
		(注4)(注13)(注14)	消費電力	kW
	寒冷地冬期	能力	kW	4.80
		(注5)(注13)(注14)	消費電力	kW
	年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率(注13)(注14)	4.0		
寒冷地年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率(注13)(注14)	3.1			
高温貯湯加熱	中間期	能力	kW	6.00
		(注6)(注13)(注14)	消費電力	kW
	夏期	能力	kW	4.40
		(注7)(注13)(注14)	消費電力	kW
	冬期	能力	kW	6.00
		(注8)(注13)(注14)	消費電力	kW
	着霜期	能力	kW	4.80
		(注9)(注13)(注14)	消費電力	kW
寒冷地冬期	能力	kW	4.90	
	(注10)(注13)(注14)	消費電力	kW	2.45
圧縮機電動機出力	kW			1.10

運転音	中間期	(注1)(注14)	dB	40
	冬期	(注8)(注14)	dB	45
冷媒名及び封入量				R744(1.10kg)
設計圧力	MPa			13.7
タンク容量	L			460
沸き上げ温度	℃			約65~90
タンク保温性能	(注11)			2.8℃低下/10時間
質量(満水時)	貯湯タンク	kg		68(528)
	ヒートポンプ	kg		59
タンク最高使用圧力	kPa			360
逃し弁設定圧力	kPa			360
減圧弁設定圧力	kPa			320
最大電流	容量	A		18
	制御	W		3
消費電力	沸き上げポンプ	W		8
	凍結防止ヒーター(貯湯ユニット)	W		80
	加熱ヒーター(ヒートポンプユニット)	W		90
	使用外気温度範囲	貯湯タンク	℃	
外形寸法(H×W×D)	ヒートポンプ	℃		-25~43(注12)
	貯湯タンク	mm		2175×630×730
	ヒートポンプ	mm		735×825(+74)×300
給湯温度	℃			水、約32~50(1℃きざみ)、55、60、65、70、75

(注1) 運転条件:外気温度DB16℃、WB12℃、入水温度17℃、出湯温度65℃
 (注2) 運転条件:外気温度DB25℃、WB21℃、入水温度24℃、出湯温度65℃
 (注3) 運転条件:外気温度DB7℃、WB6℃、入水温度9℃、出湯温度65℃
 (注4) 運転条件:外気温度DB2℃、WB1℃、入水温度5℃、出湯温度65℃
 (注5) 運転条件:外気温度DB-7℃、WB-8℃、入水温度5℃、出湯温度65℃
 (注6) 運転条件:外気温度DB16℃、WB12℃、入水温度17℃、出湯温度85℃
 (注7) 運転条件:外気温度DB25℃、WB21℃、入水温度24℃、出湯温度80℃
 (注8) 運転条件:外気温度DB7℃、WB6℃、入水温度9℃、出湯温度90℃
 (注9) 運転条件:外気温度DB2℃、WB1℃、入水温度5℃、出湯温度90℃
 (注10) 運転条件:外気温度DB-7℃、WB-8℃、入水温度5℃、出湯温度85℃
 (注11) 運転条件:貯湯ユニット周囲温度20℃、水温15℃、沸き上げ温度65℃
 (注12) -20~-25℃ではタンク全量沸き上げできない場合があります。
 (注13) ポンプ消費電力は含まない。
 (注14) JRA4060:2018に準拠しています。

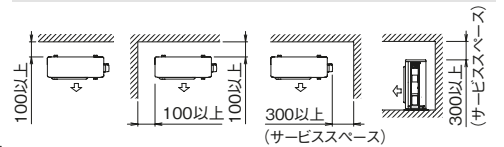
外形図(単位:mm)

■ヒートポンプユニット(RQWG60UHV)

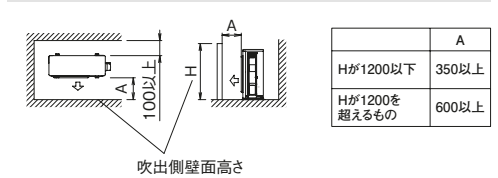


据付所要スペース

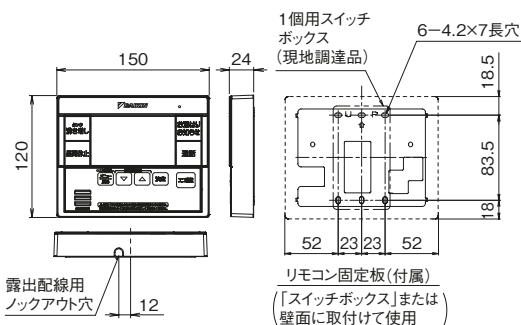
吹出側に障害物がない場合



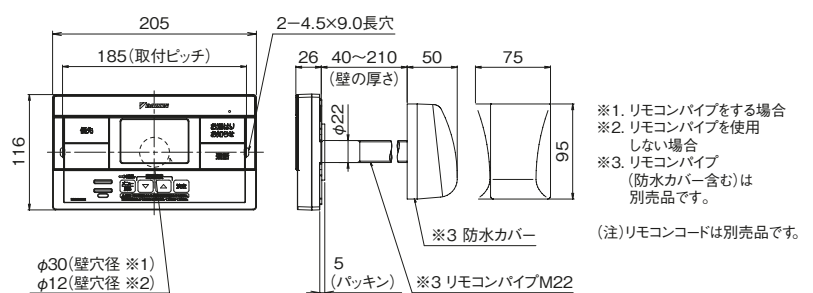
吹出側に障害物がある場合



■リモコン(BRC083B31)

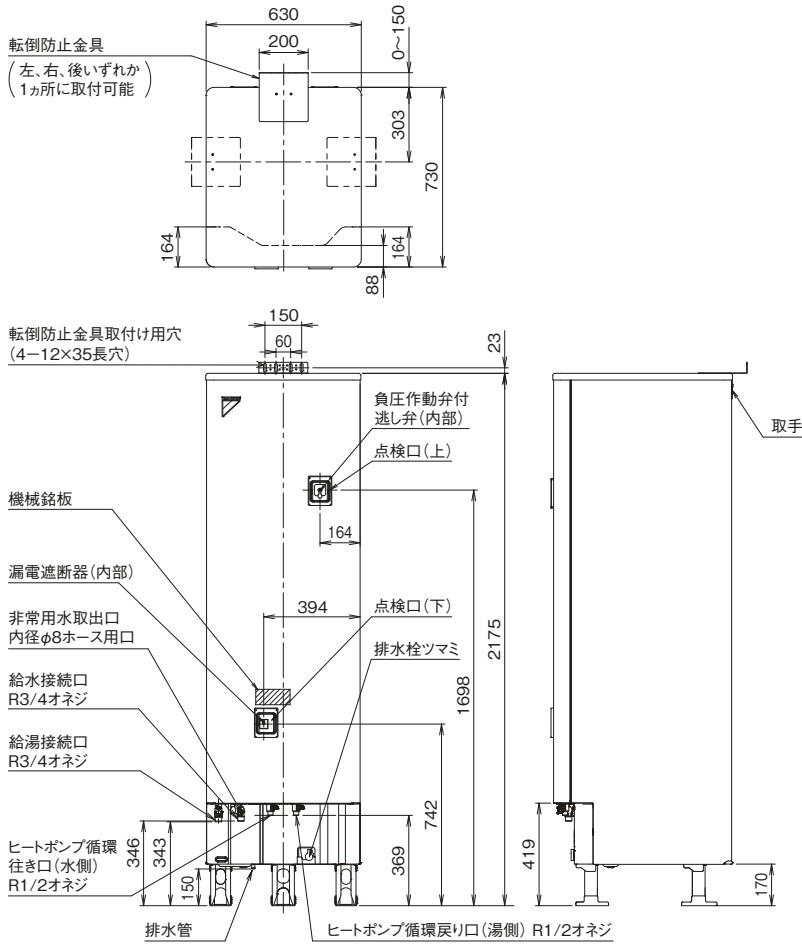


■浴室リモコン(防水タイプ)(BRC083B32)

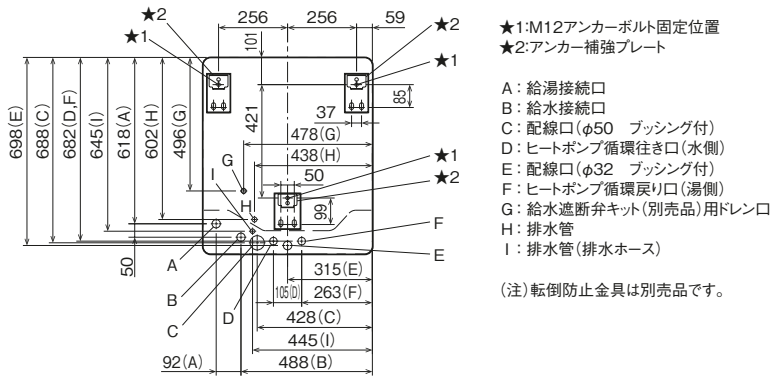


外形図 (単位:mm)

■貯湯ユニット (TUG461UHV)



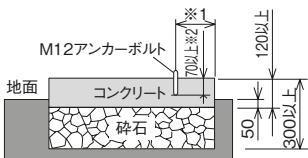
アンカーボルトおよび配管位置図 (上から見た図)



基礎工事

- 満水時の質量に十分耐える基礎工事を行う。(コンクリート圧縮強度を18MPa以上にする。)
- 床面は必ず防水・排水工事を行う。
- 地震時の転倒防止のため、必ず脚をアンカーボルトで固定する。
- アンカーボルトは座金付のナットまたは、平座金を組合せたナットで固定する。
- アンカーボルトは仕様に従って選定する。施工要領については、アンカーボルトの説明書に従って施工する。
- アンカーボルト位置は壁からの距離と貯湯ユニットの寸法を考慮して決定する。

おねじ形あと施工アンカーボルトの施工例 アンカーボルト仕様



- ※1. アンカーボルトの埋込み長さの2倍を目安
※2. アンカーボルト仕様に従って選定する

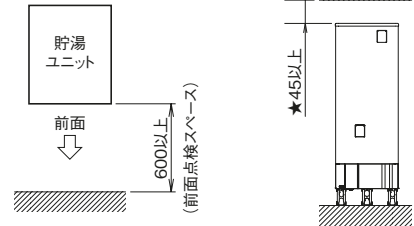
- ※3. 2階以上設置の場合は、転倒防止金具 (別売品) による固定を必ず実施してください。

(注) 貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号 (平成25年4月1日施行) に適合した設置工事が必要です。必ず当社指定の据付工事を行ってください。

据付所要スペース

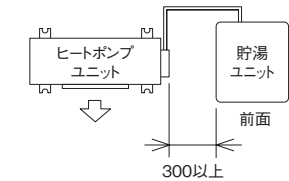
(上から見た図)

(前から見た図)

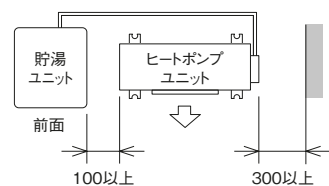


ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間の据付所要スペース (上から見た図)

●ヒートポンプユニットが左にある場合



●ヒートポンプユニットが右にある場合



- (注1) 貯湯ユニット上部スペース (★部) は45mm以上 (推奨200mm) 確保してください。
(注2) 据付所要スペース以外に本体の搬入・搬出・据付作業ができるスペース及び通路を確保してください。

⚠ 施工時のご注意

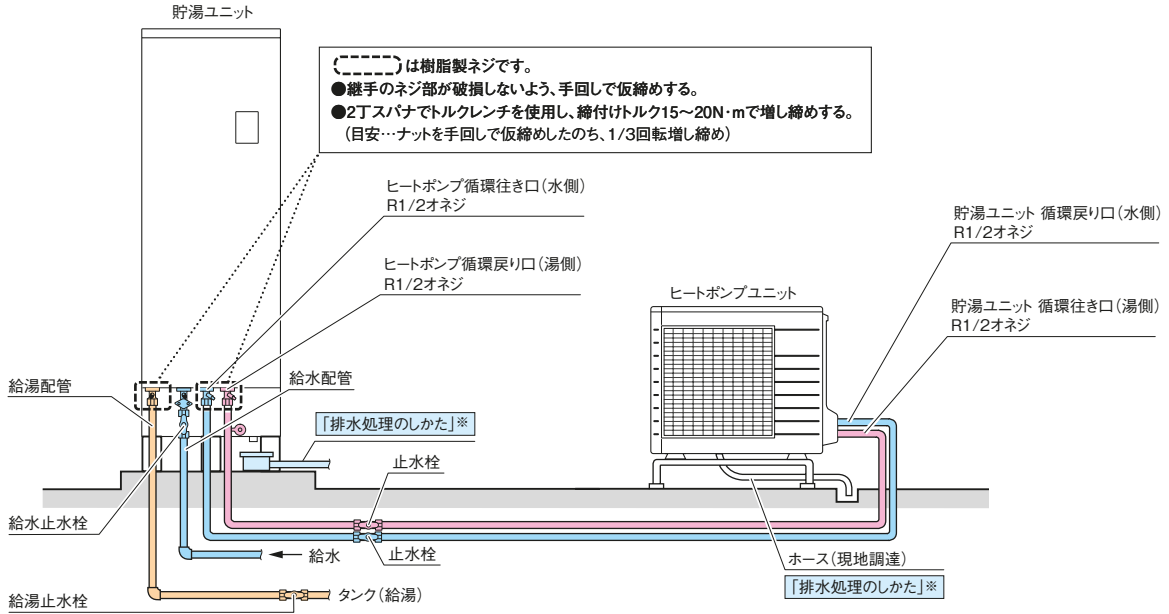
地震時の転倒防止のため、必ず脚をアンカーボルトで固定してください (M12アンカーボルト)。2階以上に据付ける場合は、転倒防止金具で本体上部も固定してください。

⚠ 地震などによって本体が転倒しケガをするおそれがあります。

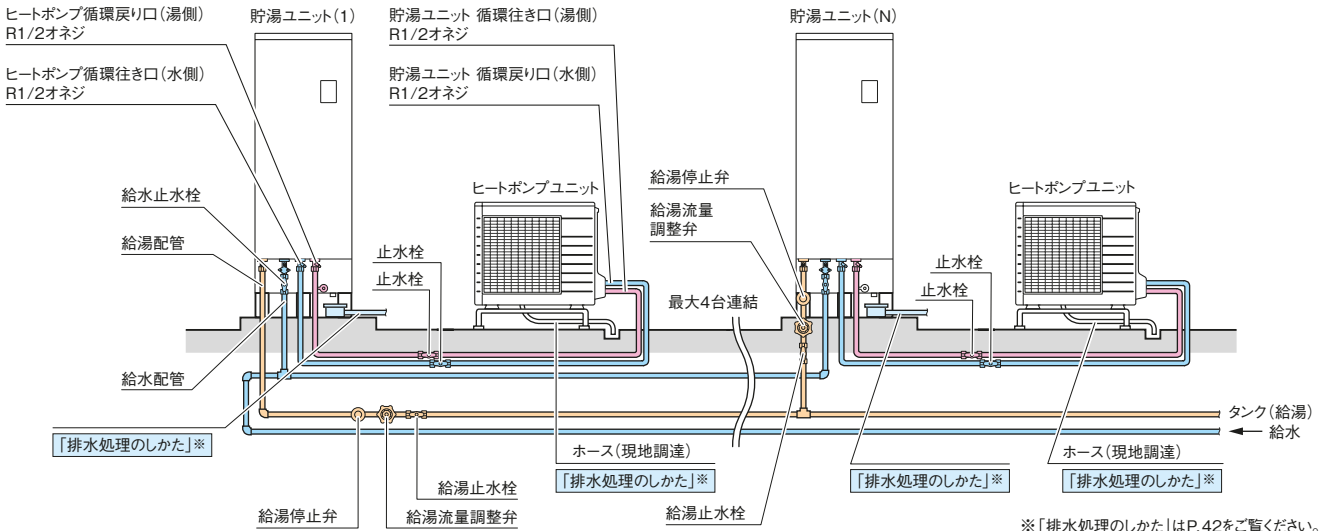
アンカーボルト / サンコーテクノ株式会社製

ねじの呼び		呼び径M12	呼び径M10
推奨品	オールアンカー-Cタイプ (スチール製 三価クロメート処理)	C-1290	C-1070
	オールアンカー-SCタイプ (ステンレス製 SUS304系)	SC-1290	SC-1070
全長		90mm	70mm
用途		脚用	転倒防止金具用

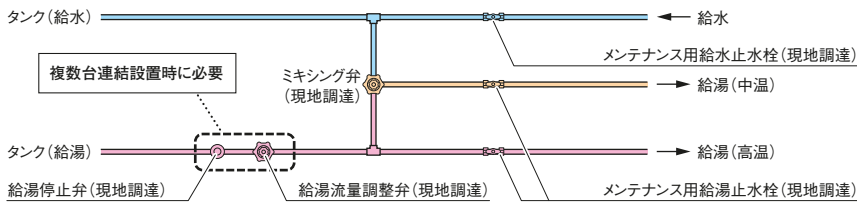
■単体設置時



■複数台連結設置時



■現地工事にて
2温度取出しの場合



⚠ 配管施工時のご注意

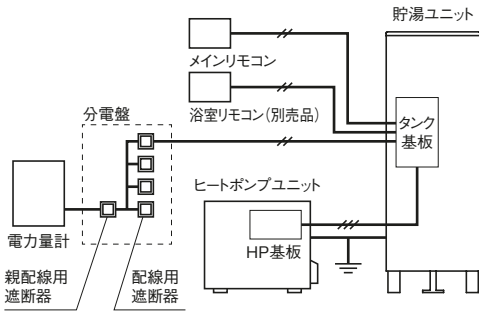
- 貯湯ユニット床面は、万一を考慮して防水処理(水もれ防止、排水処理)を行ってください。
- 凍結のおそれのある地域では凍結防止ヒーターによる凍結防止工事を行ってください。
- 貯湯ユニット沸き上げ時には膨張水が出ますので排水口には必ず排水処理が必要です。(42ページ「排水処理のしかた」参照)
- ヒートポンプユニット運転中はドレン水が出ますので、付属のドレンソケットを使用してドレンホースによる排水処理を確実に行ってください。(42ページ「排水処理のしかた」参照)
- 配管の保温材の厚みは10mm以上(ヒートポンプ配管の湯側は20mm以上)必要です。不足の場合、凍結したり放熱ロスが大きくなるため、保温工事は確実に行ってください。
- 試運転前に必ず配管と配線の接続チェックを行ってください。特にミスを招きやすい接続システムのヒートポンプユニット・貯湯ユニットの接続にはご注意ください。誤配管、誤配線があると、設定どおりの運転を行わなかったり、異常停止してしまうことがあります。
- 連絡配管のエア抜き、水熱交換器のエア抜きを順次行ってください。エア抜き不良の場合、お湯が沸かずに異常停止します。
- 複数台連結設置時は、給水・給湯配管は貯湯ユニット偏流抑制のため、リバース・リターン方式の配管施工にした上で、流量調整弁で調整してください。
- 給湯停止弁はユニット連結時に必要ですが、全台数に取付けると、設計負荷以上の給湯を使用した場合、給湯系統が断水します。厨房用途で断水しては困るような場合には少なくとも1台の貯湯ユニットには給湯停止弁を取付けないようにしてください。この場合、連結キット自体が不要となります。

■ はダイキン工業(株)扱い、それ以外はオーケー器材(株)扱いです。(Ⓢ)は受注生産品です。発注から納品までに標準品より日数を要します。(Ⓣ)はセット品番です。納品姿は複数梱包となります。

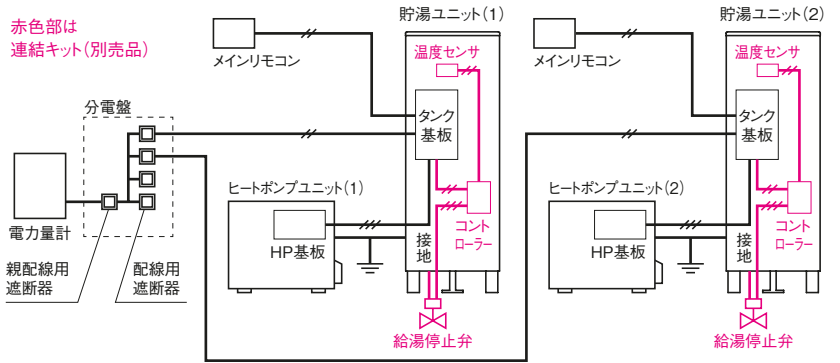
●受注生産品の納期について、オーケー器材(株)扱いのオプションは「ダイキン純正別売品総合カタログ」または「オーケースカイ空調工事部材カタログ」にてご確認ください。
ダイキン工業(株)扱いのオプションについてはお問い合わせください。

機外配線要領

■単体設置時



■複数台連結設置時 (注)2台連結の例。3台以上の連結時も同様。



- 電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行ってください。
- 保護アース(接地)工事は、万が一の感電事故防止のため、電気設備技術基準及び内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種設置工事(接地抵抗100Ω以下)を行ってください。

連結時の場合

- 連結時の配線工事については、連結キット付属の工事説明書に基づいて、必ず指定工事業者が行ってください。
- 複数台連結設置時は浴室リモコンは接続できません。

ブレーカ容量とケーブル太さ

配線用遮断器	電源ケーブル太さ	HP～タンク間ケーブル太さ	リモコンケーブル太さ
単相200V 20A	キャブタイヤケーブル3.5(5.5)mm ² VVVFケーブル(2心)φ2.0(φ2.6)	φ2.0VVF (3心、単線)	0.75mm ²

別売品

■貯湯ユニット

機種名	TUG461UHV			
代表総称名	EQG461UHV			
リモコン関連	リモコン	BRC083B31		
	浴室リモコン	BRC083B32		
	リモコンコード	5m	KRCW301A05	1,160円
		8m	KRCW301A08	1,500円
		12m	KRCW301A12	1,900円
		20m	KRCW301A20	2,600円
		50m	K-RW2050B	7,500円
100m	K-RW2100B	15,000円		
給湯連結配管関連	連結キット	BKCS995B4		
	銅管アダプター	10個入	ストレート KHFB4A42(φ12.7ロウ付用)	4,400円
	銅管フレアアダプター	10個入	ストレート KHFB4A42F(φ12.7フレア接続)	12,100円
	銅管ロングアダプター	10個入	ストレート KHFB4A42L(φ12.7)	11,000円
	ニップル継手	10個入	KHBNP4A(φ12.7)	3,300円
	フレアニップル継手	10個入	KHBNP4AF(φ12.7)	11,000円
	止水栓	10個入	KHBB4A41(φ12.7)	13,200円
	負圧弁付自動空気抜き弁	10個入	KHBB5A41(φ15.9)	15,400円
	空気抜き弁	10個入	KHBB4A41(φ12.7)	13,200円
	給湯停止弁セット	BKCS995B41		8,900円
	脚部化粧カバー	(注4)	KKC022D4	10,000円
	補強プレート付脚部化粧カバー	(注5)	KKC060D4	19,000円
	貯湯ユニット用転倒防止金具	KYP060A4		3,000円
スプレー塗料	A-SP4		1,400円	

- (注1)ユニット連結台数1台の場合のみ。
 (注2)2台以上連結する場合は連結キット(BKCS995B4)が必要です。
 (注3)ハイブリッド給湯システムの場合に必要です。
 (注4)耐塩害・耐重塩害兼用機対応仕様品です。
 (注5)補強プレート付脚部化粧カバー: KKC060D4はセット品番で以下の部品で構成されています。
【構成部品…脚部化粧カバー: KKC022D4、脚部化粧カバー 補強プレート: KKC060D4】

■ヒートポンプユニット

別売品名	機種名	RQWG60UHV		
二段置台	(注7)	アルミ	K-AW8HL	27,900円
		メッキ	K-KW27GL	27,600円
		塗装	K-KW7GL	23,000円
平置台	高さ300	アルミ	K-AH83HL	9,900円
		メッキ	K-KHZ103G	21,900円
高置台	高さ500	アルミ	K-AH85HL	11,900円
		メッキ	K-KHZ105G	26,500円
		高さ800	メッキ	K-KHZ108G
転倒防止金具(ヒートポンプユニット用)	高さ1000	メッキ	K-KHZ1010G	38,000円
			KYP945A4	8,500円
防雪パネル			K-APC8HL(注8)	25,100円
防雪屋根(支柱付)	(注3)	アルミ	K-APC8HLW(注9)	25,300円
防雪屋根			K-KP8HL	27,600円
壁面用防雪屋根		アルミ	KKC945B4	12,100円
防雪板	(注1)	左	K-KP6G2	23,000円
		右	KPS010A41	11,000円
防雪板(アルミ支柱)	(注5)	左	KPS010A42	13,000円
		右	KPS934B41L	11,600円
防雪フード	(注6)	吹出	KPS934B42L	11,600円
		吸込側面	KPS5A56T	18,400円
風向調整板	(注6)	吸込背面	KPS027A41	12,000円
			KPS027B42	13,000円
ドレンプラグ	(注2)(注10)	5台分	KPW945B4	12,800円
背面保護金網			KKP973B4	730円
			KKG973A4	3,900円

- (注1)取付ける置台は、平置台(K-KHZ103G)、高置台(K-KHZ105G、K-KHZ108G、K-KHZ1010G)のいずれかを併用してください。
 (注2)1台分は標準付属。
 (注3)平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)、二段置台(K-AW8HL)のいずれかを併用してください。
 (注4)後防雪板は単独設置できませんので左防雪板と併用してください。
 (注5)取付ける置台は、平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)のいずれかを併用してください。置台に穴あけ作業なしで施工できます。
 (注6)防雪フードは防雪屋根または防雪板との併用はできません。(注7)凍結のおそれがある地域では、使用できません。
 (注8)平置台(K-AH83HL)、高置台(K-AH85HL)と防雪屋根(K-KP8HL)に組み合わせて使用ください。
 (注9)二段置台(K-AW8HL)と防雪屋根(K-KP8HL)に組み合わせて使用ください。
 (注10)ドレン水が凍結する恐れのある場合、使用できません。(注11)在庫品限りとなります。

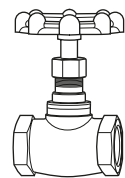
⚠ 据付けの際の注意

以下の項目に特に注意して据付けてください。
 工事の不具合による故障は、保証の対象外にもなります。

- 配管の保温工事は確実に行ってください。凍結したり、放熱ロスが大きくなります。
- 保温工事を行っても、周囲温度0℃以下の環境では配管が凍結し、破損や水漏れが起こる可能性がありますので、凍結防止対策としてヒーターの巻きつけを行ってください。
- 試運転前に必ず配管と配線の接続チェックを行ってください。特にミスを引きやすい連結システムのヒートポンプユニット・貯湯ユニットの接続にはご注意ください。誤配管、誤配線があると、設定どおりの運転を行わなかったり、異常停止してしまうことがあります。
- 連絡配管のエア抜き、水熱交換器のエア抜きを順次行ってください。エア抜き不良の場合、お湯が沸かずに異常停止します。
- ブレーカ容量の確認
配線用遮断器(ブレーカー)は、指示容量のものがヒートポンプユニットの台数分、幹線遮断器は配線用遮断器の総容量を満たさないと、運転中に不具合が起こります。
- 浴槽・シャワーなどお湯が直接人体に触れる場合は、サーモ付カランを取付けてください。

⚠ ユニット連結時のご注意

- ユニット連結時には別売品の連結ユニットとは別に、給湯流量調整弁が必要になります。給湯流量調整弁にはグローブバルブを現地調達してください。



給湯流量調整弁
(グローブバルブ)

施工概要

■各配管の制約について

配管選定については、配管メーカー様、販売店様または工事店様において、下記の当社配管制約、配管仕様、性能をご確認の上、選定してください。
 屋内配管施工や埋設配管施工の場合は、配管のメンテナンスや更新を考慮した配管選定、および工事を行ってください。

配管名	耐熱温度 (連続使用温度)	種類	サイズ	貯湯ユニット 継手サイズ	最大長さ (片道)	曲がり数 (片道)	高低差	保温材厚さ※4
ヒートポンプ配管	95℃以上※1	銅管※3	10A(φ12.7)	R1/2	25m以下	10曲がり以下	3m以下	〈配管長〉 5m以下 : 10mm 5m超~15m以下 : 20mm 15m超~25m以下 : 30mm
		銅二層管 (RoHS指令相当品※5)	呼び13 呼び10					
給水配管	—	銅管※3	20A(φ22.2)	R3/4	—	—	—	10mm以上
		架橋ポリエチレン管	20A					
給湯配管	90℃以上※2	銅管※3	20A(φ22.2)	R3/4	—	—	—	10mm以上
		架橋ポリエチレン管	16A					
		耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT管)	20A					
排水配管 (貯湯ユニット側)	90℃以上	耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT管)	φ50以上	—	—	—	下り勾配	—
ドレン排水管 (ヒートポンプユニット側)	—	—	内径φ16	—	—	—	下り勾配 (たるみ、逆勾配不可)	—

※1. パッキン推奨品:(株)カクダイ 794-046-13 または 794-034-13 (4個入) (高温用ノンアスベストパッキン)

※2. パッキン推奨品:(株)カクダイ 794-046-20 または 794-034-20 (4個入) (高温用ノンアスベストパッキン)

※3. 銅管:JIS H3300 C1220T

※4. 保温材厚さ:記載値以上で各水道事業者指定の厚さ。寒冷地では20mm以上で各水道事業者指定の厚さ。

※5. RoHS:「Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment」の略称。
 「電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州会議および理事会の指令」相当品を推奨。

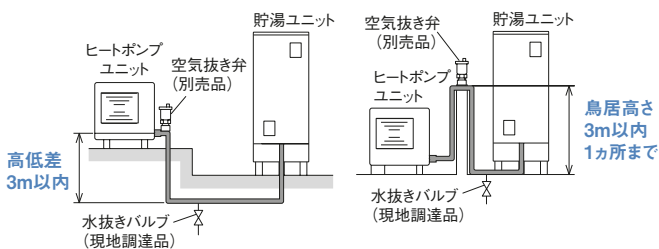
■各配管の施工上のお願

ヒートポンプ配管	<ul style="list-style-type: none"> ●配管の施工容易化などのために、銅二層管を採用される場合は、長期耐久性(湯温95℃による配管材料の劣化など)が担保できる配管を選定してください。また、使用する配管メーカーの説明書に従って施工してください。 ●性能面から配管長は、できるだけ短くしてください。 ●配管には極性があります。水側配管と湯側配管を間違えないように接続してください。 ●配管には流れのさまたげとなる逆止弁付止水栓を取付けないでください。 ●貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの配管位置図(P.37、P.38)、据付所要スペース(P.37、P.38)を参照して、使用する配管の制約条件に従って施工してください。 ●給湯機の入替え時は、ヒートポンプ配管も入れ替えてください。
給水配管	<ul style="list-style-type: none"> ●点検、排水時に使用する給水専用止水栓を必ず取付けてください。(お客様が操作しやすい場所に取付けてください。)
給湯配管	<ul style="list-style-type: none"> ●配管径が細い、配管が長いなどで給水抵抗が大きくなるとお湯(水)の勢いが弱くなる場合があります。
排水配管	<ul style="list-style-type: none"> ●沸き上げ時、逃がし弁から排出される膨張水が確認できる場所に排水ホップを設けてください。 ●必ず間接排水工事を行ってください。 ●下水口へ排水配管を落とし込む場合、必ず排水トラップを設けてください。
ドレン排水管	<ul style="list-style-type: none"> ●凍結のおそれがある地域では、ドレンソケットを使用せず、下部に排水溝または排水ホップを設けるか、凍結防止ヒーターによる凍結防止工事をしてください。

■貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間施工基準

	銅管 φ12.7	銅二層管(RoHS指令相当品) 呼び13	呼び10
最大配管長	25m以内	15m以内	
曲り箇所	10ヵ所以内	5ヵ所以内	

●銅二層管は、途中(曲げ部等)で継手による接続は行わないでください。(沸き上げ運転できない場合があります)



配管長はできる限り短くしてください。放熱ロスが大きくなります。
 鳥居配管はできるだけ避けてください。空気が抜けにくくなります。

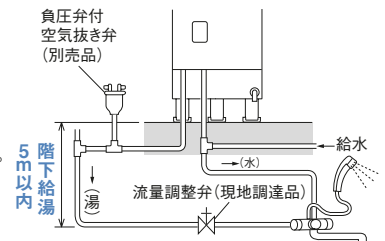
配管全長	5m以内	5~15m	15~25m
保温材厚さ	10mm※6	20mm	30mm

※6. 寒冷地設置の場合は20mm

■給湯配管の制約

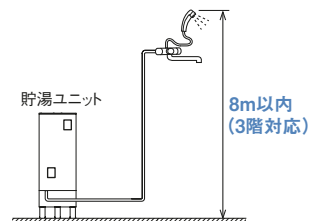
階下給湯の場合

- 給湯配管には必ず負圧弁付空気抜き弁(別売品)、流量調整弁(現地調達品)を取付けてください。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、貯湯ユニットへの給水量が不足しています。流量調整弁で給水量と給湯量のバランスを調整してください。



2階、3階給湯の場合

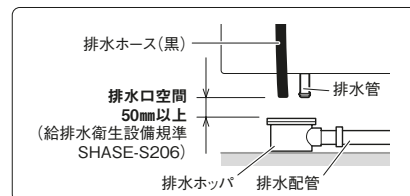
- 給水圧力が低いと、十分な性能が得られない場合があります。
- マッサージシャワーヘッドのような抵抗のあるシャワーヘッドを使用した場合、十分な性能が得られない場合があります。



■排水処理のしかた

貯湯ユニット

- 排水配管は、内径40mm以上で90℃以上の耐熱性と耐食性があるものをご使用ください。耐熱硬質塩化ビニル管（HT管）など。
- 排水量は25L/分を確保してください。
- 下水口や浄化槽へ排水配管を導く場合は、トラップ付の排水ホップを使用してください。トラップ付の排水ホップでないと、下水口や浄化槽などから逆流する下水ガスによって、排水配管および製品が腐食し、故障する場合があります。
- 排水ホースの先端を排水ホップやパイプなどに差込まないでください。凍結により排水ホースが詰まり、配管が破損するため、排水口空間を50mm以上設けてください。

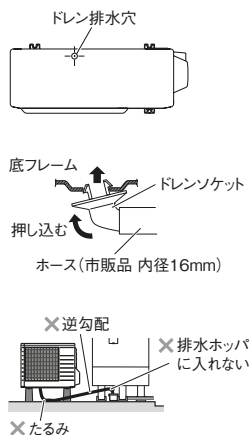


ヒートポンプユニット

- 1年を通して、沸き上げ運転中はドレン水が出るため、確実に排水ができる工事を行ってください。（1分間に約500mLのドレン水が出る場合があります。）

ドレン排水工事について

- ドレン排水するときは、ドレンソケットをご使用ください。ドレンソケットは底フレームにきっちりと取付けてください。水漏れの原因になります。
- ドレンソケットを底フレームに取付けるときは、ドレンホースをつないでから取付けてください。
- ドレンホース取付時には、必ず下り勾配を付けてください。たるんでいたり、逆勾配にすると、ゴミが詰まって水漏れの原因になります。
- ドレンホースの先端は、溝や配管に差し込んだり、水につけたりしないでください。
- ドレンホースに冷気があたらないように引き回してください。冷気があたるとドレンホース内部で水が凍結し、水漏れの原因になります。
- ヒートポンプユニットは水平に据付けてください。傾くと、ドレン水が漏れる、および機器の故障のおそれがあります。また、ドレン水の排水ができる場所に据付けてください。



凍結のおそれがある地域では

- ヒートポンプユニットのドレンソケットは使用せず、下部に排水溝または排水ホップを設けてください。（ドレンホースを使用すると、ドレン水が底フレーム内で凍結し、沸き上げができなくなることがあります。）ドレンホースを使用する必要がある場合は、凍結防止ヒーターによる凍結防止工事を行ってください。
- 2段置きはしないでください。

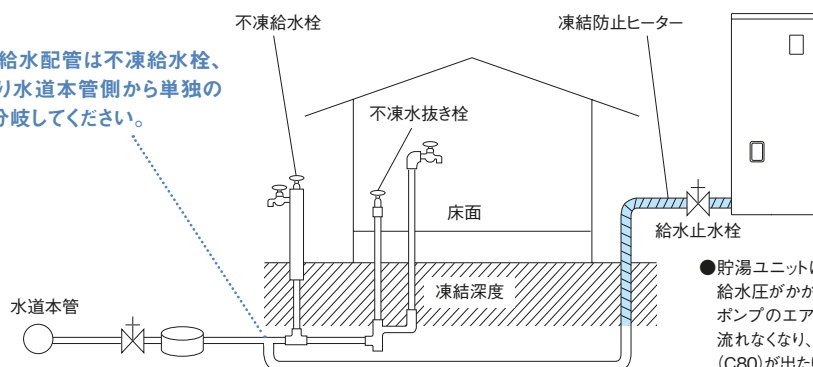
積雪地域に据付ける場合

- ヒートポンプユニットを積雪量に応じた高置台に取付けてください。
- 吸込口、吹出口が積雪でふさがれたり、天板に雪が積もったりすると故障の原因になります。別売品の防雪屋根、防雪板（左、後）や防雪フード（前面、側面、背面）を取付けてください。

⚠ 給水配管凍結防止用の不凍水抜き栓、不凍給水栓使用時のご注意

配管例

エコキュートへの給水配管は不凍給水栓、不凍水抜き栓より水道本管側から単独の給水系統として分岐してください。



- 貯湯ユニットには、常に給水圧をかけた状態にしてください。給水圧がかからない状態で沸き上げ運転を行うと、沸き上げポンプのエア噛みにより、ヒートポンプ配管の循環水が流れなくなり、循環水系統不良(HJ)やエア抜き未完了異常(C80)が出たり、凍結することがあります。

⚠ 耐塩害・耐重塩害兼用機についてのご注意

据付場所について

耐塩害・耐重塩害兼用機（JRA耐重塩害仕様相当）は、室外設置機を塩害および、大気汚染の影響を受ける場所に設置可能な仕様になっています。

種類	JRA耐重塩害仕様
据付場所	潮風の影響を受ける場所。 ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所
機種選定の目安※7	1. 室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内の場所 2. 室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所 3. 室外ユニット設置場所のトタン屋根、バルコニーの鉄製部の塗り替えが多い場所 4. 室外ユニットに雨があまりかからない場所

※7. 沖縄や離島地域に設置される場合は、耐塩害・耐重塩害兼用機を使用してください。

メンテナンス時の留意事項

- 機械のメンテナンスを十分に行ってください。（水をはじくグリスやワックス等の防錆塗装を据付時、および3ヵ月毎に塗布する）
- 長期間機械を停止する時は、機械にカバーをかける等の処置をしてください。
- なお、特殊な雰囲気や気候に機械を設置する場合は、別途充分考慮する必要があります。

据付上のご注意（維持管理について）

耐塩害・耐重塩害兼用機は素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。このため、次のような据付計画と保守を行うことで防食効果を高める必要があります。

- 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。
 - 機械の設置は建物の風下にてしてください。
 - やむを得ず海岸面に機械を設置する場合でも、防風板を設けて直接潮風が当たらないようにしてください。
 - 据付方向に注意してください。（海岸線に平行と直角では腐食度合いが異なります）
- 外装パネルに付着した海塩粒子が、雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。
- 室外ユニット底板内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないよう傾きなどに注意してください。
- 海岸地域への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- 水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。
- 据付け、メンテナンス等にて付いた傷は、必ず補修してください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。（必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください）

▲ 安全のため各種ご注意を守り正しくお使いください。

設置地域に関するご注意

- ヒートポンプユニットの設置可能最低外気温度は-25℃です。(外気温度が-20℃を下回る地域は、貯湯ユニットを屋内に設置してください。) それを下回る地域では、保護装置の作動、能力低下のおそれがあります。
- 塩害地(海浜地区で潮風が直接当たる場所)では、機器が故障するおそれがありますので、耐塩害・耐重塩害兼用機をご使用ください。
- 温泉地帯など特殊な場所では、機器が故障するおそれがありますので、据付けないでください。

水質に関するご注意

- 水質は必ず、水道法に定められた水質基準に適合した水道水を使用してください。また、水道水であっても、水質によっては、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなる場合があります。水道水であっても硬度が特に高い地域で使用する場合は相談窓口にてご相談ください。特に温泉水、地下水、井戸水でを使用した場合、通常の寿命は保証しかねます。(不具合等が発生した場合、無償保証はできません。)
- 自家浄水システムの処理水を使用する場合、水質によっては故障の原因になりますので、必ず相談窓口にてご相談ください。

設置に関するご注意

- 据付基準を守って据付けてください。
- 貯湯ユニットの設置場所からお湯を使用する場所までの配管長は、できるだけ短くしてください。配管長が長いほど、ジャコを開いてから設定温度のお湯が出るまでの時間が長くなります。
- 長期保管は平らな場所で縦置きのこと。
- ヒートポンプユニットは通気性が良い場所や強い風の当たらない場所に据付けてください。
- 動植物に直接風が当たらない所に据付けてください。動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。
- ヒートポンプユニットはテレビ、無線機等のアンテナより3m以上離してください。
- ヒートポンプユニットは空気の熱を取り込んでいますので、油煙などの多い場所には設置しないでください。製品内部が汚れ、性能低下やドレン詰まりにより、思わぬトラブルの原因になります。

ヒートポンプ ユニットの点検	ヒートポンプユニットのドレン詰まりにより、水漏れを起こした場合は、販売店または、お客様ご相談窓口へ連絡願います。
---------------------------	--

- 脚はアンカーボルトで必ず固定してください。
- 基礎は満水時の質量に十分耐えるように、また本体設置面は水平かつ水はけ良く施工してください。
- 積雪地区に設置する場合は、貯湯ユニットは小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。また、ヒートポンプユニットは架台の上に据付け、雪が空気吸込口・吹出口から入らないように防雪カバーを取付けるなど、小屋がけをするか雪が積もらないように防雪屋根をつけてください。着雪防止制御により、沸き上げ運転をしていない場合でもヒートポンプユニットの送風ファンが回転することがあります。
- 太陽熱温水器と業務用エコキュートの給水接続口の接続はできません。
- 本体1台にメインリモコン1台を接続します。浴室リモコン(別売)はユニット連結台数1台の場合のみ取付可能です。
- 船舶、車両へは取付けないでください。又、特殊用途(飼育物用等)には使用しないでください。
- 貯湯ユニットを屋内設置する場合は、以下の点を厳守してください。
 - ・ 上下部に通気口を設け、密閉室にしない。
 - ・ 水が流出しても、防水、排水ができる所。

水配管・機材等に関するご注意

- 水配管工事は、水道工事認定業者が行ってください。
- 給水圧力は350kPa以上500kPa以下でご使用ください。給水時でも350kPa以上確保してください。
- 水源水圧を減圧しているため、給湯圧が水源水圧よりも低くなります。
- 水源水圧が500kPa以上の場合、減圧弁を追加してください。
- ウォーターハンマー現象が発生する場合は、水撃防止装置を取付けてください。
- ヒートポンプユニットは運転時ドレン水が排出されます。排水工事を行ってください。
- 沸き上げ中は貯湯ユニット逃し弁から膨張水(水または湯)が排出されます。必ず排水工事を行ってください。
- 給湯用水栓には必ず逆止弁付き湯水混合栓をご使用ください。逆止弁のついていない湯水混合栓を使用した場合や給湯用水栓が故障した場合、給湯温度が低くなります。
- 給湯配管径が細いと給水抵抗が大きくなり、お湯(水)の勢いが弱くなる場合があります。

タンクの湯温・湯量に関するご注意

- 昼間もヒートポンプ運転を行います。
- 外気温や使用湯量により沸き上げ温度は変化します。
- タンク内のお湯は放熱により少しずつ冷めます。
- 配管部材からの放熱で実際に貯湯する湯温は沸き上げ湯温より低くなります。
- お湯の使用量が少ない場合、朝のリモコン残湯量表示が全点灯しないことがあります。(省エネのため、全量を沸き上げない「部分沸き上げ」を行います)
- 貯湯式給湯器ですので瞬間式給湯器と比べて連続して使用できるお湯の量には限りがあります。お湯の使用量が多い店舗や湯切れをご心配される場合は連結数を増やしてください。湯切れをすると、お湯を沸き上げるまで時間がかかります。
- お湯を上手にお使いください。1日に使用できるお湯の量には限りがあります。洗いの時の流しっぱなし等に注意し、こまめに止めてください。

使用に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。そのあと大切に保管してください。
- シャワーをお使いになるときは、まずお湯の温度を確かめてからご使用ください。
- 湯水混合栓からの出湯温度は、配管からの放熱により、設定温度より低めになることがあります。
- ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
- 2カ所以上同時にお湯を使用すると、出湯量が少なくなることがあります。
- シャワー用途に使用する場合は、必ずサーモカーンをご使用ください。
- メインリモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないようご注意ください。故障の原因となります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、シャワーなどで直接水をかけないでください。故障の原因となります。
- そのままの飲用はお避けください。長期間のご使用によってタンク内に水垢がたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わっていることがあります。飲用される場合は以下の点に注意し、必ず沸騰させたものをご使用ください。
 - ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている)は、雑用水としてご使用ください。
 - ・固形物や変色、濁り、異臭等がある場合には、飲用せずに直ちに据付け工事店(販売店)へ点検を依頼してください。
- 1日あたりの供給湯量を大幅に超過した沸き上げ運転を行った場合には、消耗部品等の交換時期が早くなります。

電気料金に関するご注意

- ダイキンヒートポンプ給湯機は、業務用電化厨房契約の対象です。
- リモコンの設定時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。

保証に関するご注意

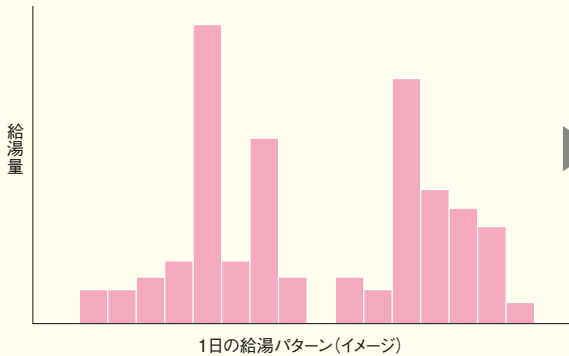
- 本内容及び取扱説明書・据付工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても無償保証の対象外となります。
- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 定期点検
 - 少しでも長くお使いいただくために取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
 - 弁類、水量センサー、ポンプ、ファンモーター、パッキン類、ホース類は消耗部品です。

「ハイブリッド給湯システム」のご提案

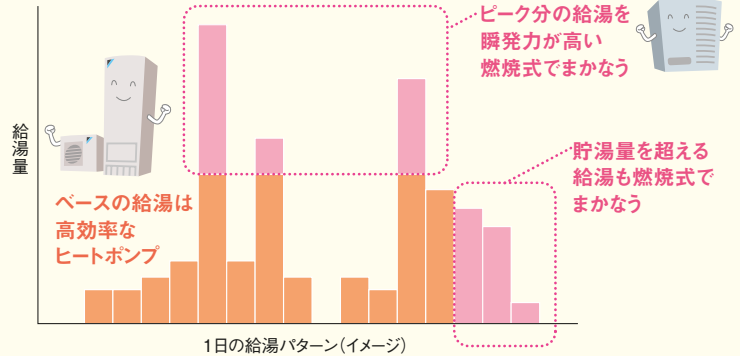
2方式のメリットを活かしたハイブリッド給湯システムで、パワフル給湯が実現します。

ベースの給湯はヒートポンプで行い、ピーク分や超過分の給湯を燃焼式でまかないます。

燃焼式給湯のみの場合



ハイブリッド給湯システム(燃焼式+ヒートポンプ給湯)なら



燃焼式給湯の特長

- 加熱性能に優れるため、瞬発力が高い
- 設置スペースが小さい
- 外気温度に影響されにくい



ヒートポンプ給湯の特長

- ランニングコストが安い
- 効率高く、省エネルギー(環境性)
- メンテナンスが容易



- 残湯量を気にしなくて良い
- 急な給湯ニーズに素早く対応
- 一方が故障や点検中でも給湯の完全停止を回避
- 燃焼のみより給湯コスト、CO2排出量が低減

現在、燃焼式給湯をお使いのお客様におすすめです。

短時間で大量のお湯を使う

ランチタイム

特定の日だけ過大にお湯を使う

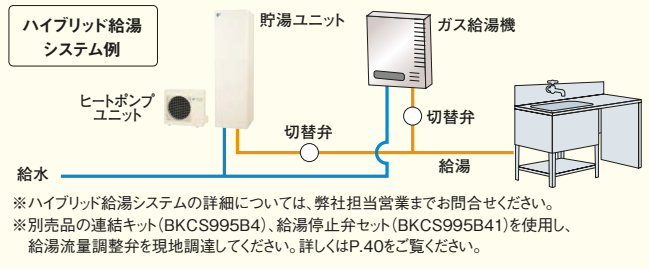
土日連休

お湯の使用量が一定しない

急な団体さん!

環境保全、省エネ法対策を進めたい

業務用エコキュートの場合



●詳しくはお問合せください。

フロン排出抑制法について

フロン排出抑制法が改正(2020年4月1日施行)されました。

- 1 フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 2 この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。 3 冷媒が未回収の機器を引渡してはいけません。

フロン排出抑制法とは

第一種特定製品※を使用している管理者(ユーザー様)を対象に義務付けられた法律であり、以下の取り組みが義務付けられています。

※冷媒としてフロン類が充填されている業務用のエアコン、冷凍・冷蔵機器、給湯機など

点検

機器の点検を行う

記録

点検等の記録を保存

報告

フロン類算定漏えい量を報告

対象となる事業者

第一種特定製品に該当する業務用のエアコン、冷凍・冷蔵機器、給湯機を使用している全ての事業者が対象となります。

例)工場、病院、福祉施設、学校教育施設、飲食店、小売店など

圧縮機定格出力 **7.5kW未満**
の機器を保有している場合

簡易点検

3ヶ月に1回以上、管理者(ユーザー様)がご自身で行う点検が必要になります。

圧縮機定格出力 **7.5kW以上**
の機器を保有している場合

定期点検 + 簡易点検

1年または3年に1回以上、専門業者への定期点検の委託が必要になります。

規制がさらに強化されます

機器廃棄時に、下記の取組みに対して違反行為があった場合には行政指導などを経ることなく、

即座に管理者(ユーザー)様に刑事罰が科せられます!

機器廃棄時にはフロン回収を行う

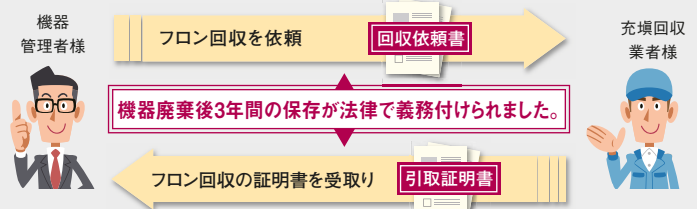
違反すると50万円以下の罰金

機器廃棄時の書類を廃棄後3年間保存

違反すると30万円以下の罰金

空調・冷凍冷蔵機器を廃棄する際の規制

機器を廃棄する際には、**フロン回収とその書類が必要**です!



機器点検の記録は、設置時から**廃棄後も3年間保存**

業務用エコキュート 省エネ提案ソフト | ヒアリングシート

機種選定を行うために、下記項目のご記入をお願いします。

 は必須項目です。必ずご記入ください。

基本情報	お客様名	新築 ・ 既築									
	所在地	都道府県	市・郡	業種名	<small> 1. ディケアサービス・グループホーム・社員寮 2. 社員寮・食堂・美容店・飲食店（兼営舎）など </small>						
	建物構造	地上	階	地下	階	電力契約名	単価	円/kWh			

簡易選定	利用規模 ※1	人	席	食	即湯機能有無 (配管循環保温有無) ※2	有り ・ 無し											
	営業時間	時 ~ 時			月別 利用者数割合 ※3	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	燃料種類	都市ガス 重油 LPG	単価	円/m ³ 円/L	曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				
	休業日(曜日)	月・火・水・木・金・土・日			曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				
	燃料消費量	m ³ /月 (月データ)			曜日別 利用者数割合 ※3	月	火	水	木	金	土	日	最大				

※1. ディケアサービス・グループホーム・社員寮は利用人数/日 理容店・美容店は来客者数/日 飲食店は席数(可能な人数も)をヒアリングください。

※2. 即湯機能が「有り」の場合は別途営業までご相談ください。

※3. 最大使用日(曜日)を100%として、各月(各曜日)の利用者数割合をご記入ください。

給湯使用箇所		給湯使用状況						備考	
浴槽	浴槽1	使用時間 利用人数	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	差し湯保温有無・浴槽サイズ		差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×			mH
	浴槽2	使用時間 利用人数	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	差し湯保温有無・浴槽サイズ		差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×			mH
	ユニットバス	使用時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽			
	ユニットバス 保温方式	保温方法	差し湯保温・なし	浴槽サイズ	m ×	m ×			mH
その他	使用時間	時 ~ 時	湯入替え	回/日	槽				
シャワー1	使用時間 利用人数	時 ~ 時	人	時 ~ 時	人			器具数	ヶ
シャワー2		時 ~ 時	人	時 ~ 時	人	ヶ			
手洗い・洗面		時 ~ 時	人	時 ~ 時	人	ヶ			
その他(業務用洗濯機など)		時 ~ 時	使用量 使用回数	L	回	ヶ			
厨房	食器洗浄機	使用時間	時 ~ 時	時 ~ 時	L/min	食洗器型番			
	前洗いシンク(流し洗い)		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min	食洗器型番			
	前洗いシンク1(溜め洗い)		時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	
	前洗いシンク2(溜め洗い)		時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	時 ~ 時	入替回数 入替回数	回	
	その他シンク		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	ゆで麺機		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	床清掃		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	その他(解冻・フライヤーなど)		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				
	その他		時 ~ 時	時 ~ 時	L/min				